

開設講習名	【選択】東アジアの家族と親族		講師	小林 宏至	
講習会場	山口大学吉田キャンパス		会場所在地	山口県山口市	
開設日	平成 29 年 6 月 24 日		時間数	6 時間	受講予定人数 50 人
受講者募集期間	平成 29 年 4 月 7 日～平成 29 年 4 月 15 日		履修認定時期	平成 29 年 8 月 10 日まで	
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象者	中学校社会・高等学校公民教諭		
受講料等総額	6,000 円	(うち受講料以外の経費)			

【到達目標】

学校で行う社会(地理・歴史)の背景としてしばしば登場する、民族・親族組織について基本的な知識を獲得する。父系出自、母系出自、イエ、民族、エスニシティなどの専門用語に関して正しい理解を得、適切に使用できるようにする。

【講習の概要】

われわれ人間は、生まれながらにして何らかの社会集団に所属しております。ヒトは社会集団のなかで誕生し、また社会集団のなかで死んでいくわけですが、その社会集団ごとに、誰を成員として認め、誰を成員外として排除するか、という異なるルールがあります。日本社会に当たり前のように生活していると、日本的な価値観こそが「普通」だと思ってしまうがちですが、その「普通」さえ本当に理解しているか分かりません。中高の地理・歴史で登場する地域、人物などはどうだったのでしょうか。婚姻を介さないでも社会集団が維持できるのはなぜか。父系出自社会において「兄弟」の範囲はどこまでか。など地理・歴史の授業を補完するような講義を行います。

1) 親族と社会集団について

社会集団を理解するための基本的な概念について整理します。すべてを覚える必要はありませんが、社会集団が構成される際にさまざまな可能性があり、そのなかの一部の形態を日本社会が採用しているということを理解します。

2) 父系出自と母系出自

中国は基本的に父系出自社会だとされていますが、西南部には母系出自社会もみられます。われわれに馴染みの薄い母系出自社会の社会構造から、父系出自、そして日本社会のありようを相対的に考えていきます。

3) ヨコ型の中国:漢族社会とタテ型の日本:イエ社会

一般に、中国漢族社会はヨコ型。日本のイエ社会はタテ型と称されることが多いですが、その構造を名称や日常実践から紐解いていきます。それを敷衍させ、日本社会と中国社会との交流の場で起こりやすい問題を考えます。

4) 民族と民族性

われわれは当たり前のように民族という言葉を日常的に使用していますが、その背景には大きな政治性があります。民族とエスニシティをめぐる、現代的な問題を、さまざまな事例から考えていきます。

【評価の方法・評価基準】

評価の方法: 筆記試験

評価基準:

合格: 講義の内容を理解していること。講義で得た基本的な知見について説明できること。

不合格: 上記以外。

【テキスト・参考文献】

事前にテキスト(資料)を配布予定。

【受講者への伝達事項】

適宜、筆記用具、ノート等を用意してください。